

<参考>持続可能な開発のための教育（※ESD）の推進

自然環境や資源の有限性を理解し、持続可能な社会づくりを実現していくことは、我が国や各地域が直面する課題であるとともに、地球規模の課題でもあります。子どもたち一人一人が地域の将来などを自らの課題として捉え、そうした課題の解決に向けて自分たちができることを考え、多様な人々と協働して実践できるよう、持続可能な開発のための教育（ESD）に取り組んでいくことが求められます。持続可能な開発のための教育（ESD）では、教科等を越えた教育課程全体の取組を通じて、子どもたちが、自然環境や資源の有限性、貧困など、地域や地球規模の諸課題などを自らの課題として捉え、解決に向けて実践できるようにしていくことを目指します。

※ESD：Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

鳥取県では、「オール鳥取による持続可能な社会づくり」としてSDGsの推進に取り組んでいます。

オール鳥取による持続可能な社会づくり



とっとりSDGs宣言

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



少子高齢化・人口減少が続く本県において、すべての県民が自分らしい生き方を選択し、ふるさと鳥取で安心して暮らし続けるためには、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」理念のもと、県内の全域が活力を持ちながら持続していく必要があります。

そのため、「豊かな自然」、「人と人の絆」、心豊かな暮らしを実現できる「幸せを感じる時間」といった、都会にはない鳥取ならではの強みをさらに伸ばすとともに、県民をはじめ、市町村、企業、NPOなどとのパートナーシップにより、持続可能な地域社会の実現に向けて取り組みます。

- 持続可能な地域社会づくりのためにSDGsの普及啓発を図り、本県ならではのパートナーシップを活かしたSDGs推進に取り組みます。
- 県の各種計画へSDGsの視点を反映するとともに、経済・社会・環境の三側面を統合した取組を推進します。
- SDGs推進のための具体的な目標及びローカル指標を設定するとともに、県民と共有し、毎年、取組の効果検証を行います。

令和2年4月3日 鳥取県知事 平井 伸治

【参考】SDGs(エスディーゼーズ)：Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される2030年を年限とした国際目標。